

強者の戦略

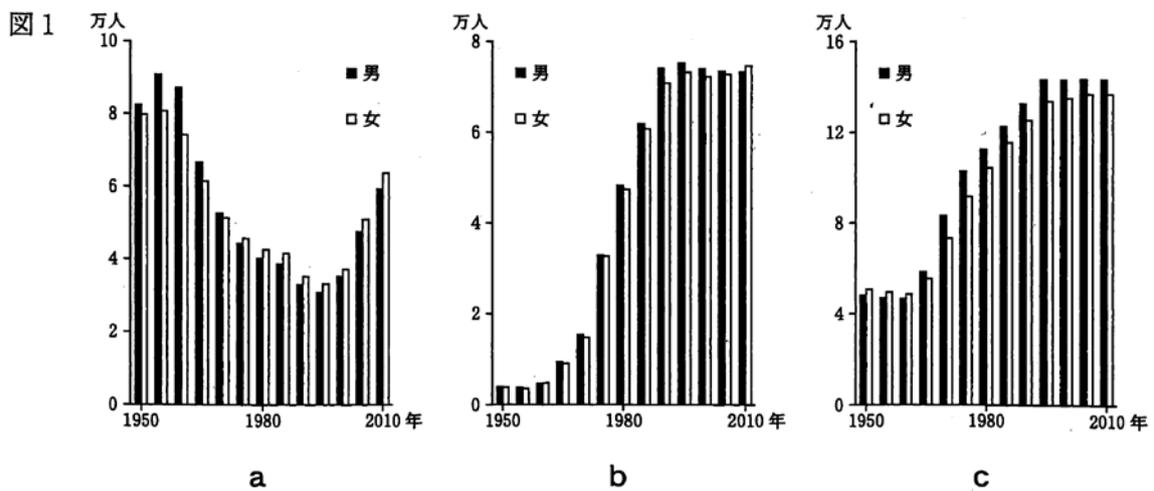
【新潟大】(改題)

問1 高度経済成長期に、非大都市圏から大都市圏への大規模な人口移動が生じた背景について40字～60字で説明せよ。

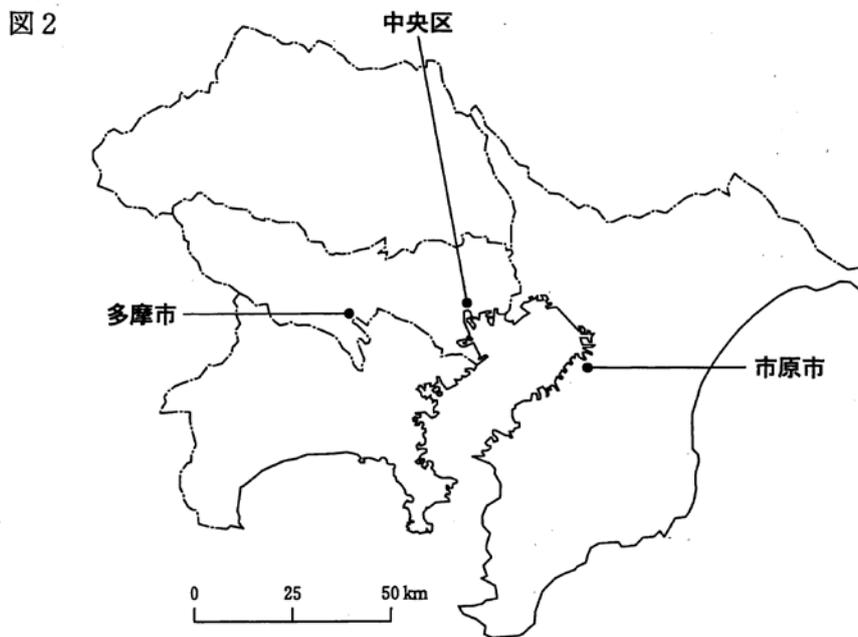
問2 東京圏は最も人口が流入した地域である。しかし、その中でも、人口構造や人口推移は市区町村ごとに多様である。図1は、図2中の市区の男女別人口の推移を示したものである。

(1) 市原市、多摩市、中央区に該当するものを、a～cから選べ。

(2) bの市区の小学校に通学する児童数は、1990年には約1万2000人いたが、現在は約7000人にまで減少している。その背景を70～90字で述べよ。



国勢調査による。市町村合併の影響は考慮しなくてよい。



強者の戦略

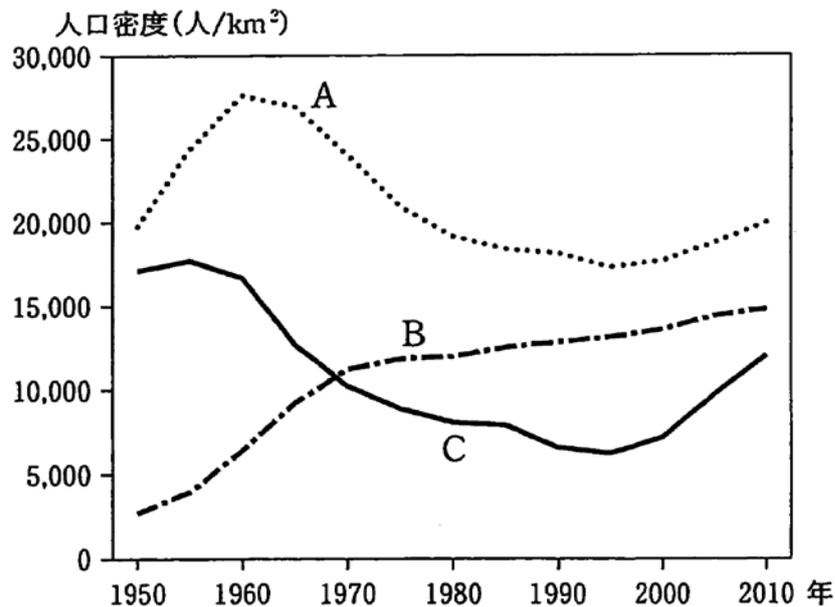
【東大】

設問A

図3-1は、ある大都市内の3つの区A～Cの人口密度の推移を示している。一方図3-2は、同じ3つの区の1965年および2010年の職業構成を示している。

- (1) 図3-2のア～ウは、それぞれの区に住んでいる就業者の職業構成(常住地ベースの職業構成)と、それぞれの区で働いている就業者の職業構成(従業地ベースの職業構成)を示したものである。それぞれ図3-1のA～Cのどの区に関するものであるのかを、ア～ウのように答えなさい。
- (2) AとCでは1960年代から1970年代にかけて人口密度が急速に低下している。それぞれどのような理由によるものであると考えられるか、あわせて3行以内で述べなさい。
- (3) Cでは1990年代後半以降、人口密度が上昇に転じているが、どのような理由によって生じたものであると考えられるか、1行以内で述べなさい。

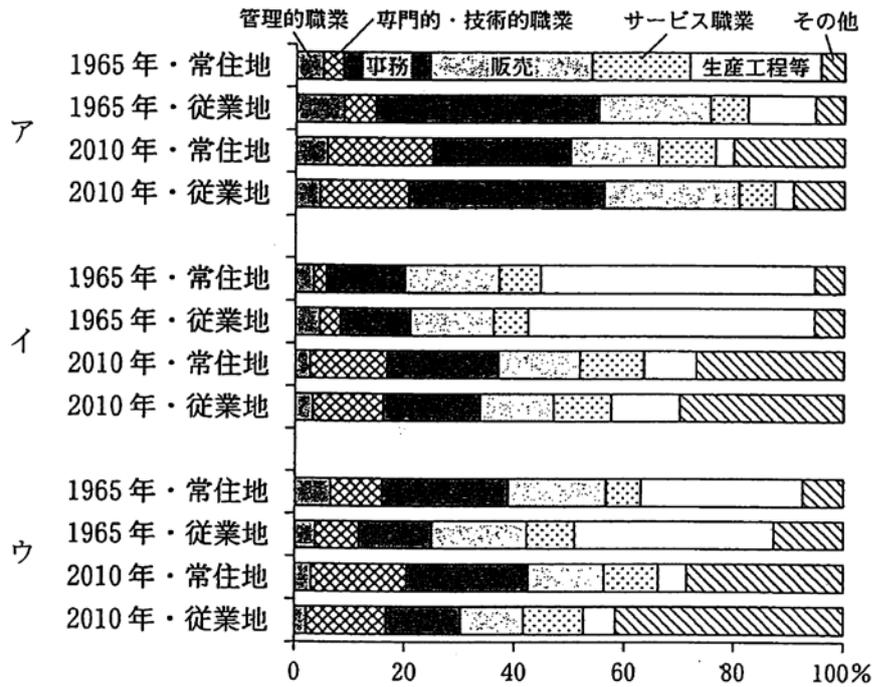
図3-1



国勢調査による。

強者の戦略

図 3 - 2



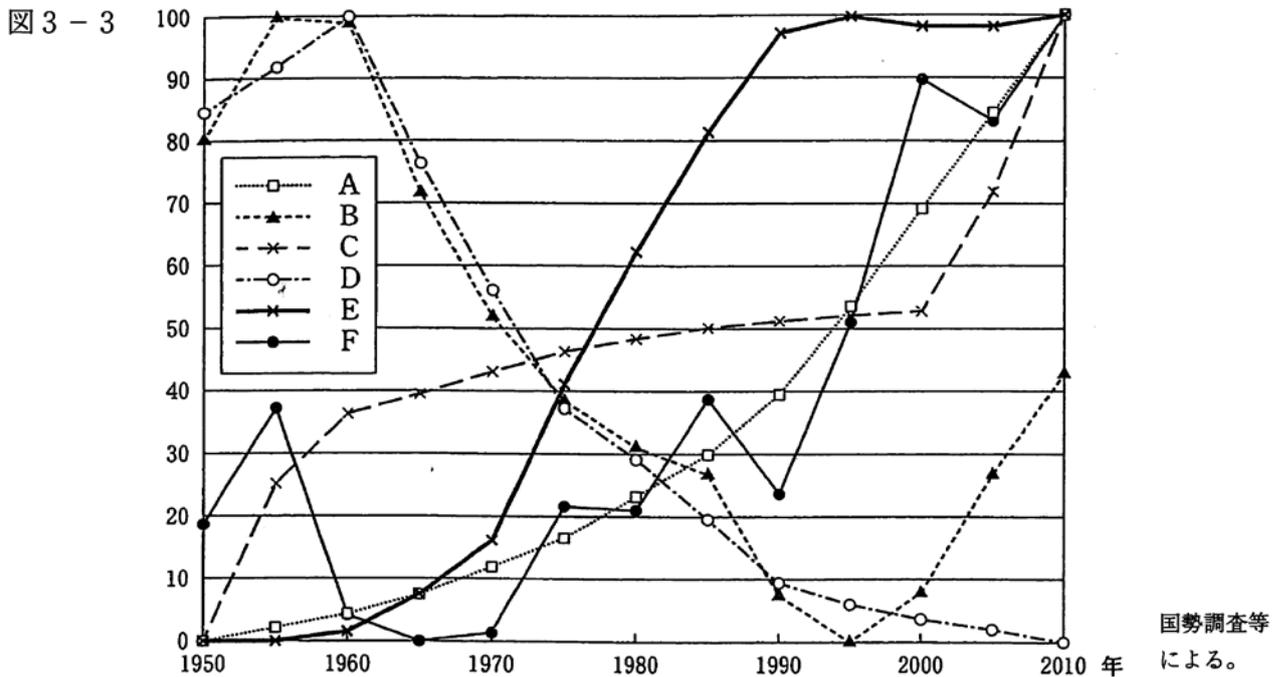
1965年の従業地の値は、20%抽出値による推計値。「生産工程等」は、「技能工、生産工程従事者および単純労働者」(1965年), 「生産工程従事者」(2000年)を指す。 国勢調査による。

強者の戦略

設問B

図3-3は、1950年～2010年における以下の6つのデータを、5年ごとにグラフに表したものである。ただし、いずれのグラフも、上記期間における最小値が0、最大値が100になるように、値を変換している。

- ① 東京都都心3区（千代田区、中央区、港区）の人口
- ② 東京都多摩市（現在の多摩市の範囲）の人口
- ③ 北海道夕張市（現在の夕張市の範囲）の人口
- ④ 全国の高齢者率（65歳以上人口の割合）
- ⑤ 全国の完全失業率
- ⑥ 1市区町村当たりの人口（政令指定都市は1つの市として、東京都の特別区はそれぞれ1つの区として数える）



- (1) A～Fは上記①～⑥のいずれに相当するか。A-○のように答えなさい。
- (2) 1950年～1960年と2000年～2010年におけるCの変化が生じた共通の理由を、1行で述べなさい。

強者の戦略

前置き文

今年の夏は前途多難かもしれません。夏期講習に入ったばかりなのに台風の影響で、予備校の授業は振り替えや短縮などで日程が変更になりました。昨年は台風で大手予備校の模試も実施できなくなったこともありました。日本よりも台風が数多く訪れるフィリピンなどはどんな対策を講じているのでしょうか。もしくは、中東地域に予備校があったら、干ばつが激しいときは休講したりするかもしれませんね。みなさんも、天気気を付けると共に、利用している交通機関にも注意しておいてください。家を出る前に交通機関の運行状況を調べておかないと、予備校に行くまでに予想以上に時間がかかることになる可能性がありますよ。

さて、今回も今年度の入試問題で似たような問題を集めてみました。テーマは日本の都市人口です。大学は違えど、入試で聞いてくるポイントはあんまり変わらないんだなーと実感できるかもしれません。東大の問題は難しいと思いますが、ぜひじっくり考えてみてください。